

特集

第47回通常総代会報告

※総代会は、1年間の事業や活動などの重要な方針を決める東都生協最高の意思決定機関です。

「産直」「協同」「民主」

いのちと暮らしを守るために

私たち組合員は未来に向かって進みます！

第47回通常総代会を、6月17日、ハイアットリージェンシー東京（新宿区）にて開催しました。総代550人中、546人（本人出席52人、書面出席493人、代理人出席1人）が出席、ソーシャルディスタンス、マスク着用など感染対策もしっかりと行いました。また、今年度はYouTube Live配信で、自宅から視聴できる機会も作っています。



総代は「組合員の代表」です。

地域から選ばれた「総代」は、東都生協の26万人の組合員全員を代表して総代会に出席します。東都生協がさらに組合員の暮らしに役立つように、みんなの思いや願いを意見や要望として積極的に出すのが総代の役割です。

総代会までに、3回の総代会議（12月、3月、6月）

3回の総代会議において、組合員や総代の声を集約、昨年度の組合員活動と事業を検証して、今年度の方針を論議し、総代会で決議をする議案を作成しました。コロナ禍により、2020年度はオンラインも活用した総代会議を行い、論議を進めることができました。

提案議案と採決結果

第6号議案で新役員が決定、他の6議案は賛成多数で承認されました。第3号議案の2030年ビジョンを決定し、10年先の東都生協のあるべき姿を確認しました。

議案件名	結果
第1号議案 2020年度活動・事業報告承認の件	過半数の賛成により可決
第2号議案 2021年度活動・事業計画承認の件	過半数の賛成により可決
第3号議案 2030年ビジョン決定の件	過半数の賛成により可決
第4号議案 定款の一部改正の件	2/3以上の賛成により可決
第5号議案 組合員除名の件	2/3以上の賛成により可決
第6号議案 役員選挙の件	役員候補者が定数内のため全員が当選
第7号議案 役員報酬の上限額確認の件	過半数の賛成により可決

2020年度決算報告

全体の供給高	370億9,969万5,118円 (予算比123.9% 前年比123.2%)
組合員数	258,887人 (前年比104.2%) ※2021年3月20日現在
財政状況	組合員出資金:65億1,201万円 一人当たり出資金:25,154円 一人当たり利用高(1回分):6,406円 (予算比118.5% 前年比117.3%) ※2021年3月20日現在



柿のドレッシング

材料(1回分)

柿……………1個
玉ねぎ……………1/8個
レモン汁……………大さじ2
オリーブオイル……………大さじ2
りんご酢……………大さじ1/2~1
塩……………小さじ1/4~1/2
こしょう……………適量

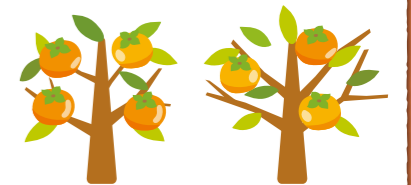
作り方

1. 柿と玉ねぎはすりおろしてボウルに入れ、りんご酢、レモン汁、塩を加えてよく混ぜる。
 2. オリーブオイルを少しずつ加えながら混ぜ、こしょうを入れて好みの味の濃さに仕上げる。
- ※りんご酢の代わりに穀物酢を使う場合は酸味が強いので、少しずつ加えて好みの味にしてください。
※冷蔵庫で半日ほど寝かすと味がなじみ、おいしくなります。
※柔らかい柿の活用にもおすすめ。
※玉ねぎをみじん切りに代えると食感のアクセントに。

旬のレシピ

種がなくても柿の木は増える!?

渋柿はもともと種がないので、種なし柿とも呼ばれます。ではどうやって増えるのか、不思議に思われるのでは？実は接ぎ木で増やしているんです。よく耳にする「桃栗三年柿八年」ということわざは、種からまいて柿の実が付くまでが8年という意味ですが、産地では接ぎ木をすることにより5年ほどで実がとれるようになります。



Attention, please!!

[アテンション・プリーズ]

柿はお好きですか？
柿を使った料理に挑戦されたことはありますか？
クロスワードの答えと一緒に送ってくださいね。

もう一品 おすすめ

柿のバタージャム

材料(作りやすい分量)

柿(完熟で、皮・種を除いた実の部分)……………約300g
きび砂糖……………100g(柿の実の重量に対して30%)
バター(有塩)……………80g
生レモン汁(または市販の液体レモン果汁)……………大さじ1
ラム酒……………大さじ1

作り方

1. 皮と種を取り除いて、ザク切りした柿を鍋(ホーローがおすすめ)に入れ、砂糖とラム酒を加えて弱めの中火にかける。
 2. 焦げ付かないように混ぜながら5~6分加熱する。
 3. (2)に生レモン汁を加えて中火で加熱し、アクが出たら取り除く。
 4. ところみが出てきたらバターを入れて溶かし、火を止めて出上がり。
 5. 煮沸消毒をした清潔な瓶・容器に入れ、冷蔵庫で保存する。
- ※取り分けるときもきれいなスプーンを使ってください。
※柿の完熟度や砂糖の種類により甘さが変わります。
※無塩バターを使用する場合は少し塩を入れて可。



柿を長くおいしく楽しむには？

柿は常温で10日~15日ほど保存できますが、その間も熟して柔らかくなっていきます。2~3個ずつビニール袋に入れてチルド室(野菜室)で保存すると、熟すスピードが落ち、ひと月くらい楽しめます。また、柿はヘタが乾くと柔らかくなる性質があるので、水で濡らしたキッチンペーパーなどをヘタに当てラップに包んでヘタを下にしてチルド室に入れれば、硬さを保ったまま2~3週間保存できます。



2030年に向けて

さらにその先につながるために

新型コロナウイルスの終わりが見えず、世界が大きく変わる中で、今後東都生協は、いかに未来を見据え、いのちとくらしを守るために活動していくか……風間与司治理事長と石渡由美子副理事長に語っていただきました。

コロナ禍の組合員活動、そしてコロナ後の組合員活動

風間 今年も、コロナ禍での総代会開催となり残念でした。ただ、組合員活動では、パソコンなど不慣れた機器の操作に悪戦苦闘しながらもオンラインによる商品交流や産地交流を進め、幅広い層の参加が可能になり、交流ができたのは良かったですね。

石渡 そうですね。オンラインを利用して組合員活動ができる……これはコロナ禍でのうれしい発見でした。産地との交流会、メーカー提供の動画などが続々と配信されて好評です。

風間 オンライン利用のルール整備や体制などへの課題もありますが、当面はオンラインを活用してつながりを絶やさないことがコロナ禍では何よりも大切だと思います。コロナ後は、リアルを中心しながらオンラインを上手に組み合わせた活動スタイルのデザインが必要でしょうね。

石渡 間違いなく、コロナ後もオンライン活動は残ります。ただ、対面の大切さも再確認した今、緊急事態宣言下でなければ、感染対策を取った上で、集会的活動も検討したいです。

風間 実験段階ですが、JAやさと管内にある体験型交流施設「朝日里山学校」で、家族単位でのバーベキューや地域探索などもできました。また、生産者との交流は手紙やビデオ配信でもできます。今こそ、言葉の力の再確認と映像でつながる安心感の両建てが必要ですね。つながる力が生協活動の原動力ですから。

石渡 今、地域版「ウォ」やブロックニュースの紙面では組合員からの「いいね」を産地・メーカーに送り、産地・メーカーからの「ありがとう」コメントを組合員に伝えていきます。これは自宅でも一人でも参加できる交流です。産地訪問の再開まで待つてはいられないので、他にも交流の形を作って多くの組合員に参加してもらいたいと思います。

これからの仲間づくりについて

風間 仲間づくりは、組合員からのお勧めに勝る手法はありません。要は、声掛けや説明などの方法論の工夫が必要です。

石渡 組合員からの紹介加入者は、利用率も継続率も高いと聞きます。以前は私も友達に勧めたことがあります。が、「週1回配達、前の週に注文、箱がたくさん届くなんて無理……」と言われてしまったが(笑)、最近「重い物大丈夫?」「生産者が分からない食材で心配ない?」「遣伝子組換えてって知ってる?」など、日常会話の中に東都生協につながる内容を盛り込



石渡由美子副理事長

内容を盛り込



風間与司治理事長

んで、「私は東都生協を買ってるんだだけ」という流れで話すと意外と聞いてもらえます。

風間 声掛けの技術ですね(笑)。コロナ禍で組合員数が増えた今こそ、加入後も安定した定着につながる組合員紹介やウェブサイトによる仲間づくりを強化する良い機会です。

石渡 今、多くの組合員が東都生協の食材を使った料理写真をインスタグラムで投稿しています。レシピがあると「作ってみよう!」と思ったり、「いいね!」マークと一緒に私のアイデアを書き込んで返事が来ると「つながってる」と実感できます。

風間 それはいいですね。他生協がしている「プチパーティー」は、「食べながら気軽にしゃべり」「説明しても押し付けがない」をキーワードにしている。仲間づくりとしては理想的です。うちも職員と組合員が一緒に新時代の仲間づくりを展開していきたいですね。

理事長、副理事長として2030年ビジョンへの思い

風間 私たちのくらしは豊かになる一方で、経済格差や子どもの貧困、地球環境破壊、コミュニティの喪失など、生きづらさも感じます。だからこそ、食と農がもつ可能性を引き出し、みんなが笑顔になれるように社会を変えたいですね。

東都生協創立時の原点であり、存在目的である、「安全な食料の安定確保」「生産者の経営の安定や農村の健全な発展」「生産者と消費者の相互理解」「地球環境との共存」という考え方を踏まえつつ、この混沌とした時代にスピード感をもって迷わず進むための羅針盤が2030年ビジョンです。変革と挑戦の10年が始まるという思いです。

石渡 東都生協の一組合員として考えた時、わが家は東都生協のない生活が想像できません。2030年ビジョンは東都生協が「いのちとくらしを支える」存在として、必要な指針だと実感しています。

風間 そうですね。そして未来へつなぐためには、農業への支援が不可欠ですが、東都生協以外にも食と農の分野に、若者をはじめ多様なプレーヤーが大勢参入しています。その中で、私たちの強み・独自性は、「組合員、取引先・生産者、職員」が一体となった枠組みです。SDGsの目標12である「つくる責任 つかう責任」を意識し、消費者であり農業応援団でもある組合員が、「食と農」の活動に新鮮な息吹を吹き込み、農村という癒しの自然空間において感動体験を創出することが未来をつくる鍵になります。

石渡 その意志を受け継いだ人たちが力を出し合えば、2030年にはバージョンアップした東都生協がいつでもそばにいる。さらに、環境や平和のために社会を変える力になっているかもしれない。そんな2030年であってほしいです。

2030年ビジョン

「食と農の感動体験を通じて、みんなの未来をしあわせにします。」
東都生協の価値でもある食と農を通し、誰一人取り残さないしあわせな未来をめざすことが決議されました。

2021年度活動方針

東都生協の行動目標「食の未来づくり運動」を未来につなぎ、人と人がつながっていくSDGsをさらに進め、コロナ禍での新しい日常をばねに、社会変化に対応した組織づくりを目指します。

組合員活動	目指すこと	東都とつながり、みんながつながる、未来への一歩
	取り組むこと	① みんなでやってみよう、ひとりでもやってみよう ② いのちをつなぐ大切な食べものを未来につなげよう ③ いのちとくらしを守るために学び行動しよう
事業経営 組織運営	目指すこと	豊富なアイデアと新たな取り組みで、みんなを笑顔に
	取り組むこと	① 事業活動の活性化 ② 事業基盤の強化

総代会に出席した総代の感想

■世田谷区山下さん
総代になって5年。総代会はさまざまな意見を聞き、総代の責任を実感する場だと思いい、会場に足を運びました。コロナ禍での開催でしたが、いつかまた大勢の総代が集まれるといいですね。安全・安心で、おいしいものを口にできるのは産地の皆さんのおかげです。早く産地訪問をしたいです。

■板橋区久本さん(書面出席)
コロナ禍の総代会。高齢の母がいるので書面出席でしたが、書面議決書があり、意見も言えます。発言者の意見や配付された「わたしの意見・思い」は参考になります。事前の総代会議のおかげで東都生協の価値を再認識し、生産者や職員に改めて感謝です。



第47回通常総代会を経て、新体制が始まりました。東都生協がなくてはならない生協であるように、2030年ビジョンの一步となる活動を組合員の皆さんと進めていきます。